

ショーダンスルール 抜粋翻訳（選手用）

1、ダンス

- ・ボールルームショーダンスでは、5種目のボールルームダンスの中から選ぶ事
- ・ラテンアメリカンショーダンスでは、5種目のラテンアメリカンダンスの中から選ぶ事
- ・審査をする際、一人一人のキャラクターを見極める(査定する)のは、審査員の義務である。
- ・ダンサーは、リハーサル時と本番で同じショーを演じなければならない。

2、時間

- ・ショーの時間は、いかなる場合でも4分を超えてはならない。ショーの時間は入退場を含む。
- ・時間を越えた場合、即失格とする。

3、リフト

- ・全てのパフォーマンスにおいて、3回までリフトを許可する。これはショーのどの最中に行ってもよい。

4、音楽

- ・ショーダンス選手権において、出場するカップルに使用可能な音楽機器を知らせなければならない。使用可能な機器は常に、下記の通り。
 - a、 CD
 - b、 MP3 Player/ iPod/ iPad
 - c、 USB Audio media

5、競技会

- ・照明の条件は、すべての選手のショー(入退場含む)に対して同じでなくてはならない。
- ・全てのショーダンス選手権において、出場する選手は公式のリハーサルを行わなければならない。リハーサルは、実際に競技会が行われる場所で、十分な時間が与えられて行われるべきであり、全ての出場選手と審査委員長は出席する義務がある。

6、小道具

- ・入場、演技中及び退場時に小道具の使用は不可である。
注) 衣装ではないどのようなアイテムも小道具とみなします。
つまり、いかなる時も切り離す事が出来るアイテムは存在しない。

7、演技順

- ・演技の順番は、全ての競技選手と代表者がいる中で、抽選により取り決める。

8、ラウンド間の時間

- ・ショーダンス選手権においては、ラウンド毎に30分、間をおかなければならない。

9、審査方法

- ・通常の採点方式(マーキングシステム)を適用する。
(決勝戦は順位法とする)。